

外来担当予定表

<令和5年4月1日現在>

	月	火	水	木	金	土	
午前	1	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	中村 (循環器内科)	岩前 (呼吸器内科)
	2	松清(立) (腎臓内科)	関上 (循環器内科)	松本 (1・3週) (腎臓内科) 植木 (2・4週) (腎臓内科)	須藤 (泌尿器科)	松清(立) (腎臓内科)	東大医師交代制 (リウマチ科)
	内視鏡				小島 (2週・4週)		
午後	1				岩前 (呼吸器内科)		

※ () は医師の専門科目であり、一般内科診療も行います。

※都合により、担当医師が変更となる場合があります。

※午後の外来診療は木曜日のみです。

※診療時間外の急患・救急対応を致しますので、受付もしくはお電話にてご相談ください。



《受付時間：(午前) 8時15分～11時30分 (午後) 2時30分～3時30分》

※木曜日のみ

《診療時間：(午前) 9時00分～12時00分 (午後) 3時00分～4時00分》

※木曜日のみ

《休診日：日曜日、祝祭日、月～水・金・土曜日午後、年末年始(12/30～1/3)》

地域医療連携室では、患者様の入院・転院・外来紹介他、介護施設入所や各種制度についてのご相談もお受けしております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

医療法人社団 醫光会

おうら病院



けやき

おうら病院地域医療連携室だより

2023年春号



病院理念 やさしさに会える医療を やすらぎに会える医療を そして、生きがいに出会える医療を

高度な医療技術がめまぐるしく進歩している時代でも、いつも医療の原点に立ち返り、人と人との空間を大切にしていきたい、いつもそんな施設であるように...

基本方針

1. 患者様の権利と意思を尊重し、合意と理解に基づく患者様主体の医療を行います
2. チーム医療を実践し効率的・効果的な業務を遂行します
3. 感染対策を徹底し、安全な医療提供体制を構築します
4. 地域の医療機関・福祉施設と密な連携を図り、地域医療の発展に貢献します
5. 職員一人一人が技術のさらなる習得に励み、最良の医療の提供を目指します
6. 医療資源の適正利用と健全経営を持続します



2020年4月より、当院で慢性腎臓病を中心とした外来診療を行って参りましたが、2023年4月より常勤医として勤務いたします。これまでの外来診療に加えて、一般内科の診療や慢性腎臓病の教育入院（食事療法や薬物療法の調整）、末期腎臓病の血液透析導入、血液透析患者様の合併症入院などを担当します。

当院で対応困難な患者様に関しては、近隣の腎臓専門診療が可能な総合病院と連携させていただきます。地域の皆様の健康が維持されるよう、お手伝いできれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科医 松清立

日本内科学会 総合内科専門医
日本腎臓学会 腎臓専門医
指導医
日本透析医学会 透析専門医

1 松清立 医師ご紹介

2 リハビリテーション科

3 嚥下造影・口腔ケアについて

4 外来担当予定表

発行：おうら病院 地域医療連携室 発行日3月吉日
所在地：〒370-0615 群馬県邑楽郡邑楽町篠塚3233-1
電話：0276-88-8611 (地域医療連携室 直通)
0276-88-5678 (代表)

おうら病院 リハビリテーション科の紹介



当院のリハビリテーション科には理学療法士4名、作業療法士2名、言語聴覚士1名の計7名が在籍しています。一般病棟、療養病棟にて各疾患に応じた個別リハビリを実施し、在宅への退院支援や患者様の生活の質の向上を目指しています。リハビリテーション科では、様々な疾患を対象としており、脳血管リハビリテーション(Ⅱ)、廃用症候群リハビリテーション(Ⅱ)、運動器リハビリテーション(Ⅰ)、呼吸リハビリテーション(Ⅰ)の施設基準を取得しています。



<運動器リハビリテーション>

主な疾患：骨折、骨折術後、変形性関節症、脊椎疾患など
ストレッチや筋力強化等の運動療法や必要に応じて物理療法を併用し、疼痛緩和や運動機能の向上を図っています。



<呼吸器リハビリテーション>

主な疾患：肺炎、慢性閉塞性肺疾患、喘息など
お身体の状態に合わせて、ベッドサイドでの呼吸コンディショニングや排痰・呼吸介助などの低負荷な運動から行っていきます。呼吸に関わる筋力の向上や足腰の筋力強化を行っていき、日常生活動作の再獲得や息苦しさの軽減を目指していきます。

<脳血管リハビリテーション>

主な疾患：脳出血、脳梗塞、慢性硬膜下血腫など
脳血管障害を生じると運動麻痺や感覚障害などの後遺症が生じることがあります。患者様の最大の能力を引き出せるよう、各種促通・運動療法や歩行練習等の動作練習を積極的に行っています。

<廃用症候群リハビリテーション>

治療の為、入院中はベッド上での生活が長くなってしまいます。入院前は普通に日常生活を送っていた方でも、安静期間を置くことによって、足腰の筋力低下や認知機能の低下が生じやすくなります。その為、可能な限り早期のリハビリ介入を目指し行っています。



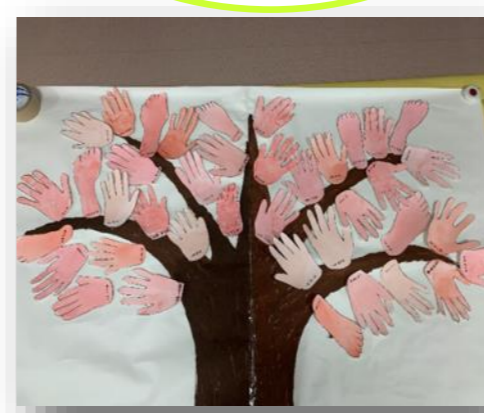
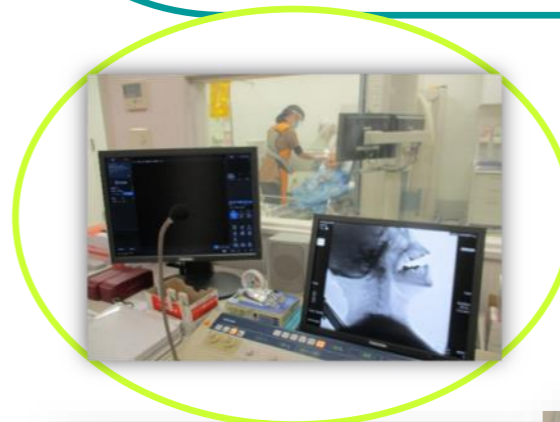
<病棟ケア>

療養病棟では入院期間が長期にわたる患者様もいらっしゃり、長期の入院で他者との交流の機会が減少し生活リズムが単調となりやすいため、入院中の生活の質をどう維持していくかが重要な課題の一つです。

また、新型コロナウイルス蔓延の影響で面会制限中で、より交流機会が減少してしまっている状況です。その為、当院では作業療法士が中心となり、病棟レクリエーションを開始しました。月に数回、カレンダー作成や季節ごとの作品制作を実施しています。病棟入り口に作品展示をさせていただいている為、ご家族様にも病棟活動の様子をお伝えできればと考えています。地域の皆様に安全で質の高いリハビリを提供できるよう、引き続き努力・精進してまいりますので、今後もよろしくお願い申し上げます。

嚥下造影検査

2022年4月より嚥下造影検査を開始しています。嚥下機能の低下した方に対して、嚥下運動の状態や適切な食形態を評価します。この検査により誤嚥をしていないか、飲み込みの過程の異常を見ることができ、食事形態や食事姿勢の調節、嚥下訓練の適応の有無を判断していきます。



口腔ケア ~歯科衛生士の紹介~



当院には歯科衛生士が1名在籍しており、入院患者様が口腔内の清潔を保てるよう歯科衛生士により専門的な口腔ケアを実施しております。歯科衛生士は摂食嚥下カンファレンスにも参加し、嚥下機能や食事形態などを相談し、誤嚥なく食事が食べられるよう多職種で取り組んでいます。



ご自身での口腔衛生管理が困難な患者様の口腔ケアを主に行っています。お口は身体の入り口です。食材や食器、食事環境を気遣う様にお口の中を整える事は重要です。お口は食べる事(摂食嚥下)だけでなく、表情を作り会話をする等コミュニケーションを助けます。口腔機能の維持改善につながるよう1人1人の患者様に合った口腔ケアを心掛けています。

歯科衛生士 谷山 愛